科目番号	59011	分類	専門科目 生活支援総合看護学	履修者	看護学研究科博士課程	学年
科目名	看護情報学 （ Nursing Informatics ）					1 配当セメスター 通年

担当者	○浦中　桂一　他１名	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 看護情報の収集、管理、分析、および利用に関する研究の現状と今後の課題を多方面から探り、看護情報学における看護実践への応用について探求する。情報技術を活用して臨床実践を支援し、看護の質と安全性を向上させる能力を養う。 【目標】 ① 看護情報学発展の歴史について説明できる。 ② 看護情報保護のための倫理や規約について説明できる。 ③ 看護情報のシステム化に必要な手法や技術を学ぶ。 ④ 根拠に基づく看護実践のための情報活用とその維持管理について学ぶ。 ⑤ 看護の質改善に寄与する看護情報管理のあり方について明確にできる。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力
	○	3. 地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力
	○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力
	○	6. 実践を行いながら学部学生の臨地実習を指導できる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回 第２回 第３回 第４～15 回	ガイダンス、看護情報学発展の歴史・基本概念 看護情報の収集と管理、データベース管理、情報システムの構築と実装 看護情報分析とエビデンスに基づく実践、データマイニングとビッグデータの解析 看護情報のセキュリティとプライバシー、倫理と法律の考慮事項 看護記録と文書化、テレヘルスと遠隔モニタリング、看護ケアにおける人工知能の活用 看護情報学の研究トピックスと発表 ①文献抄読 ・看護情報学の倫理と法律の考慮事項 ・看護現場における看護情報学の課題と解決策 ・看護情報学の研究トピックスと発表 ②プレゼンテーション及びディスカッション ・上記の看護技術工学等に関する課題 ※授業は学生のプレゼンテーションを中心に展開する。 ※進捗状況によりスケジュールが変更されることがある。	浦中 他１名

事前・事後学習	事前学習：関連する看護情報学の書籍やデータベースを熟読する。 事後学習：授業で学んだ内容から、実践的な問題解決に取り組む。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと
評価の方法	文献抄読・プレゼンテーションの参加状況（20%）及び内容（40%）、レポート（40%）により評価する。フィードバックは適宜行う。
参考図書 ・資料等	参考書： Essentials of Nursing Informatics (4th ed.). New York: McGraw Hill. Saba, VK &McCormick, KA (2006). 看護情報管理論　太田勝正 他 日本看護協会出版会 看護情報学への招待　キャサリン・J・ハンナ 中山書店 手島恵.(2021).これからの倫理と看護. 日本看護協会出版会
備　　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。